

保護者様

横浜市立上白根小学校
校長 山崎 由美

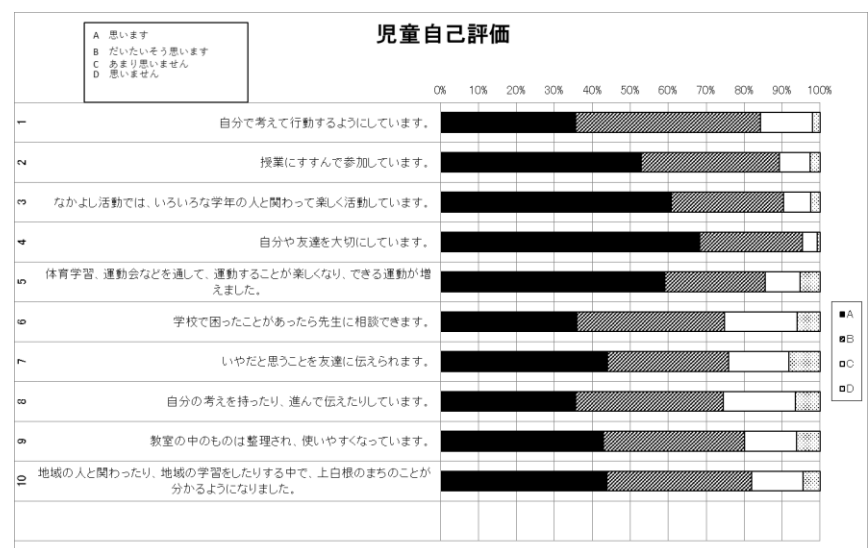
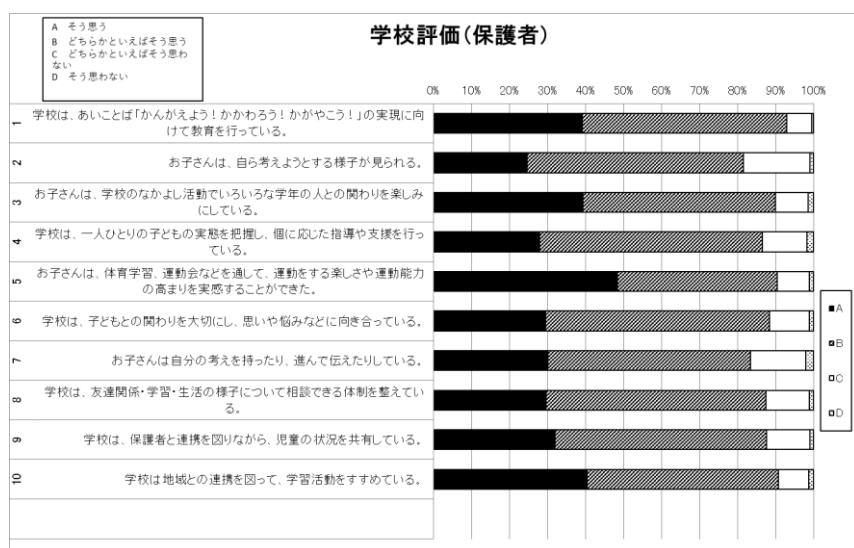
横浜市立上白根小学校の学校評価集計結果について

早春の候、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

本年度も本校のご協力ありがとうございました。

さて、保護者の皆様に回答していただきました学校評価を集計し、まとめと課題について考察いたしました。

この評価結果を今後の学校運営に役立てていきたいと考えておりますので、今後ともご理解、ご協力をお願いいたします。



<まとめと課題>

○ 本校の取り組み目標について

全体的には、保護者の方の回答を見ると、どの設問についてもA、Bの回答を選択している方が8割以上という結果となっていて、本校の教育活動に概ねご理解いただいているということがわかります。児童の回答ではA、B合わせて8割に満たない設問もあり、子どもたちの自信のなさや、苦手意識が伺えます。

個々の設問の様子から「見える本校の課題としては、次の3点があげられます。

① 考える力

今年度は、「考える子」の育成を教育活動の柱にして取り組んできました。中休み終了間際に高学年児童が時計を見て「そろそろ帰ろう」と他学年に声をかけるなど、教師の指示やチャイムに頼らず、時間を意識し、自分の判断で行動できる児童が増えました。しかし、「自分で考えて行動するようにしています。」では「そう思う」の回答は35%、保護者に向けた質問項目「お子さんは自ら考えようとしている」でも、「そう思う」の回答は30%にとどまませんでした。この結果から、学校でも、家でも、誰かの指示を待ってから行動する傾向が強く、自分で考える意欲が低いことがわかります。この項目では、ご家庭の協力が不可欠です。「考える力をつける」という課題を学校と家庭で共有し、答えを与えるのではなく問い返すことを意識したり、学習や生活の中で、考える場面を意図的に作ったりしていくことが必要であると考えます。ぜひご協力ください。

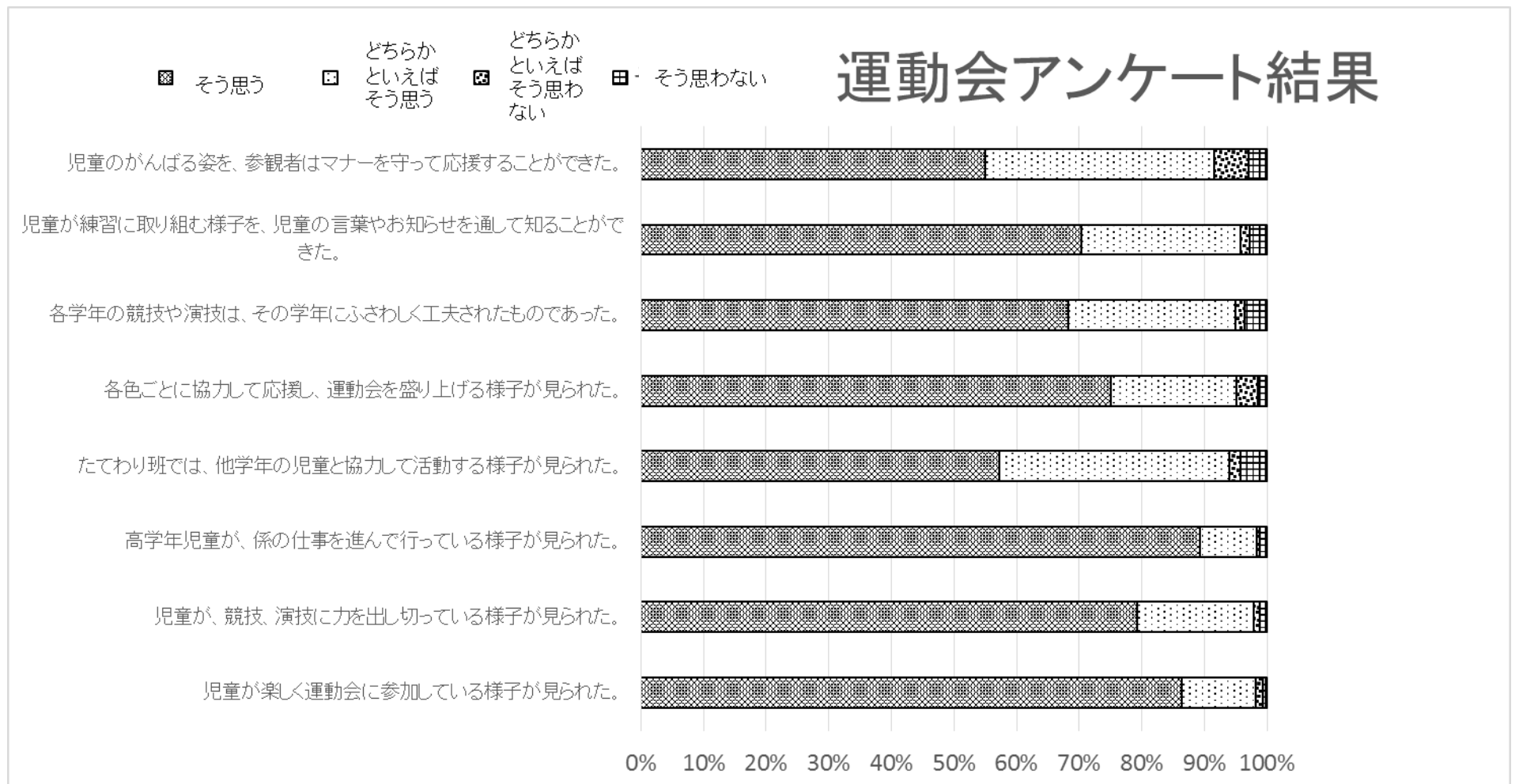
② 伝える力

「自分の考えを持ち、進んで伝えたりしています」では「そう思う」の回答は35%にとどまりました。また、「学校で困ったことがあったら先生に相談できます」「いやだと思ったことを友達に伝えられます」の項目でも、「そう思う」の回答がともに45%に届きませんでした。この結果から、伝えることや自己表現が苦手な児童が多いことがわかります。次年度は今年度に引き続き学習や生活場面で「考える場面」を意識的に設定するなど、指導の工夫をすることで、考える力が身に付くようにしていきたいと考えています。また、表現するよさが分かり、自分の考えを発信することに自信がもてるよう、話し合いや、発表の場面を学習や生活の場面に取り入れていこうと考えています。

③ 関わる力

「なかよし活動ではいろいろな学年の人と関わって楽しく活動しています。」では、「そう思う」の回答が60%を超えました。この結果から、同学年の友達とだけでなく、いろいろな人との関わりを楽しんでいる様子が伺えます。また、「自分や友達を大切にしています」では70%に近い児童が「そう思う」と回答しており、思いやりの気持ちが育っていることがわかります。これは、人と関わることを楽しめるからこそ生まれた結果と考えます。今年度は、後期からなかよしデーを取り入れ、異学年が交流する機会を増やしました。今後も、なかよし活動の内容を充実させるとともに、生活科や総合の学習等で、地域の人や外部の講座を受講する機会を年間教育の中に位置づけ、人との関わりを広げ、心のつながりを大切にできる児童を育てていきたいと考えています。

横浜市立上白根小学校の運動会評価集計結果について



<まとめと課題>

○参観マナーについて

昨年度に比べると「マナーを守って応援することができた」の問いに対し、「そう思う」とする回答が50%から55%にアップしています。これは、保護者のみなさんがマナーを意識して参加していただいている結果と考えています。一方、マイナス評価は6%から8%に増えており、また、「日傘を差しながらの参観は後ろの人達が見えないので困る。」「思いやりシートで三脚や脚立を利用している人がいて残念だった。」等、マナーについてのご意見も多く寄せられています。今後学校では、マナーアップのための呼びかけを重ねていきますが、よりよい運動会となるよう、保護者の方々のご理解とご協力をお願いします。

○高学年の児童の活動について

「高学年の児童が係の仕事を進んで行っている様子が見られた」の問いに対しては、約90%の方に「そう思う」とする回答をいただきました。これは、高学年の児童が、運動会を「自分たちで運営していく」という高い意識をもって活動した結果と考えています。今後も、この意識が継続するように、運動会の係活動の意義をしっかりと伝え指導していきます。

○運動会における縦割り活動について

「たてわり席での他学年と協力して活動する様子が見られた」という問いについて、「そう思う」とする回答は、58%にとどまりました。これは、たてわり活動がスタートしたばかりの時期に、運動会が開催されるため他学年の児童と協力できるところまで関係性が構築しきれないことが原因として考えられます。今年度は、従来のたてわり活動に「なかよしデー」を中休みに設けるなどし、交流が深まるように活動計画を改善しました。運動会はなかよし活動のスタートとして位置付けているので年間を通して仲が深められるように活動を計画していきたいと考えています。

○暑さ対策について

「応援席に日よけネットやテントをはったり、ミストを設置したりと工夫がほしい。」等、たくさんのご意見が寄せられました。皆様のご意見を受け、児童が安全に参加できるよう暑さ対策について具体的な手だてを前向きに検討しています。次年度の運動会に向けての方向が決まりましたら、保護者の皆様にお知らせしていきます。限られたスペースや教職員の人数の中で保護者の皆様のすべての要望にお応えすることは難しいのですが、よりよい運動会にするために検討していきますので保護者の皆様もご理解、ご協力をお願いします。